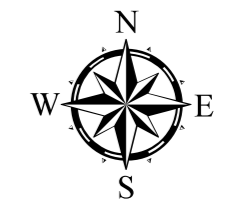
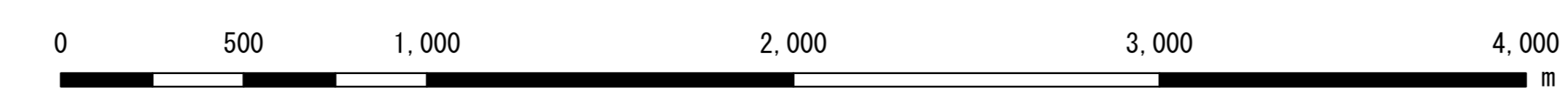
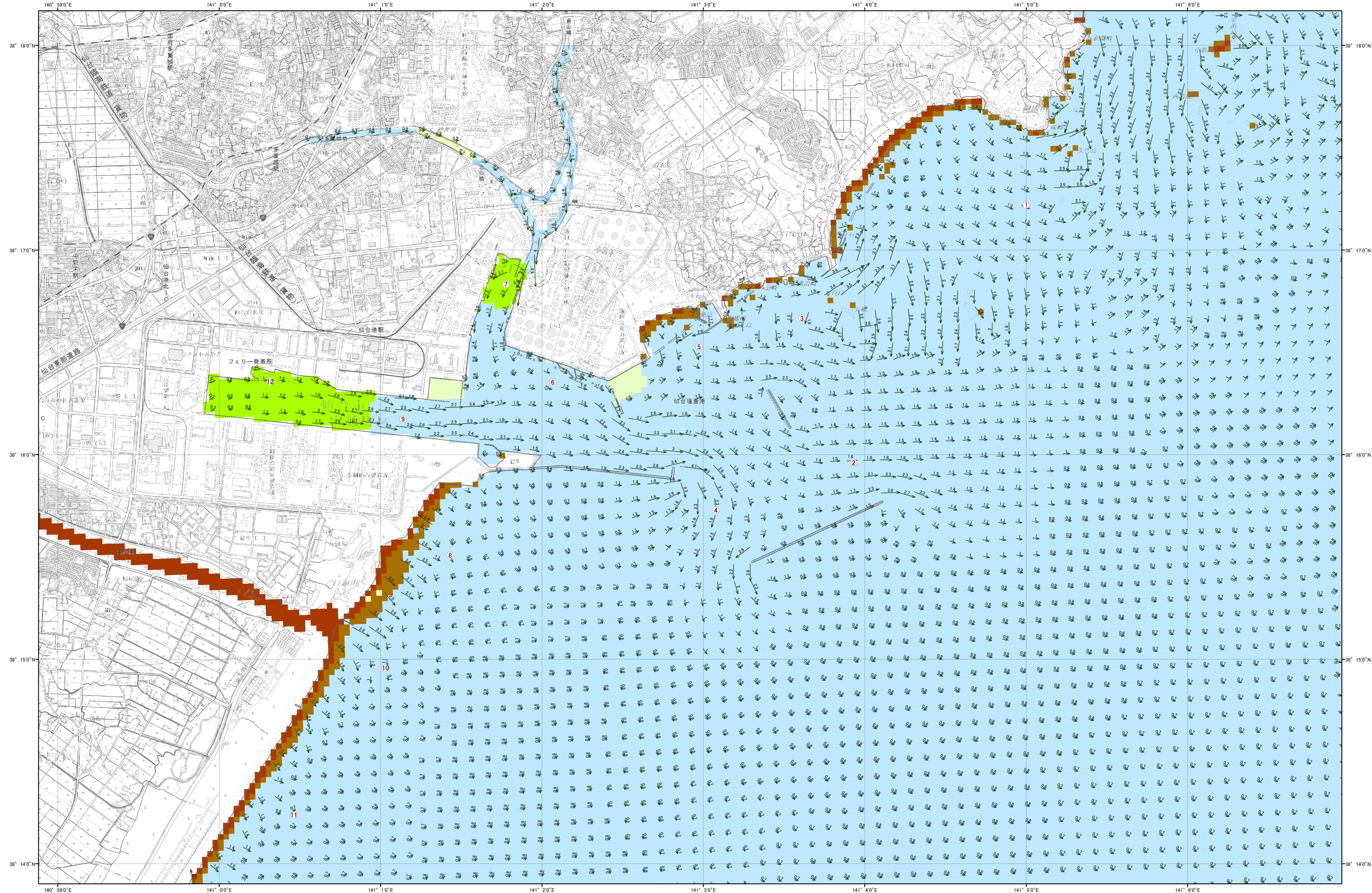


計算条件：最低水面(零位)
隆起量：平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)
Zo：0.93m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

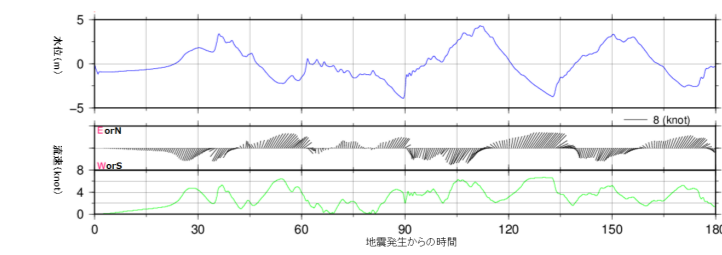


凡例

- 最大水位低下
 - 2~最大2.8m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- 経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を断面の経時変化図で示す。)

(例) 水位、流向・流速経時変化図



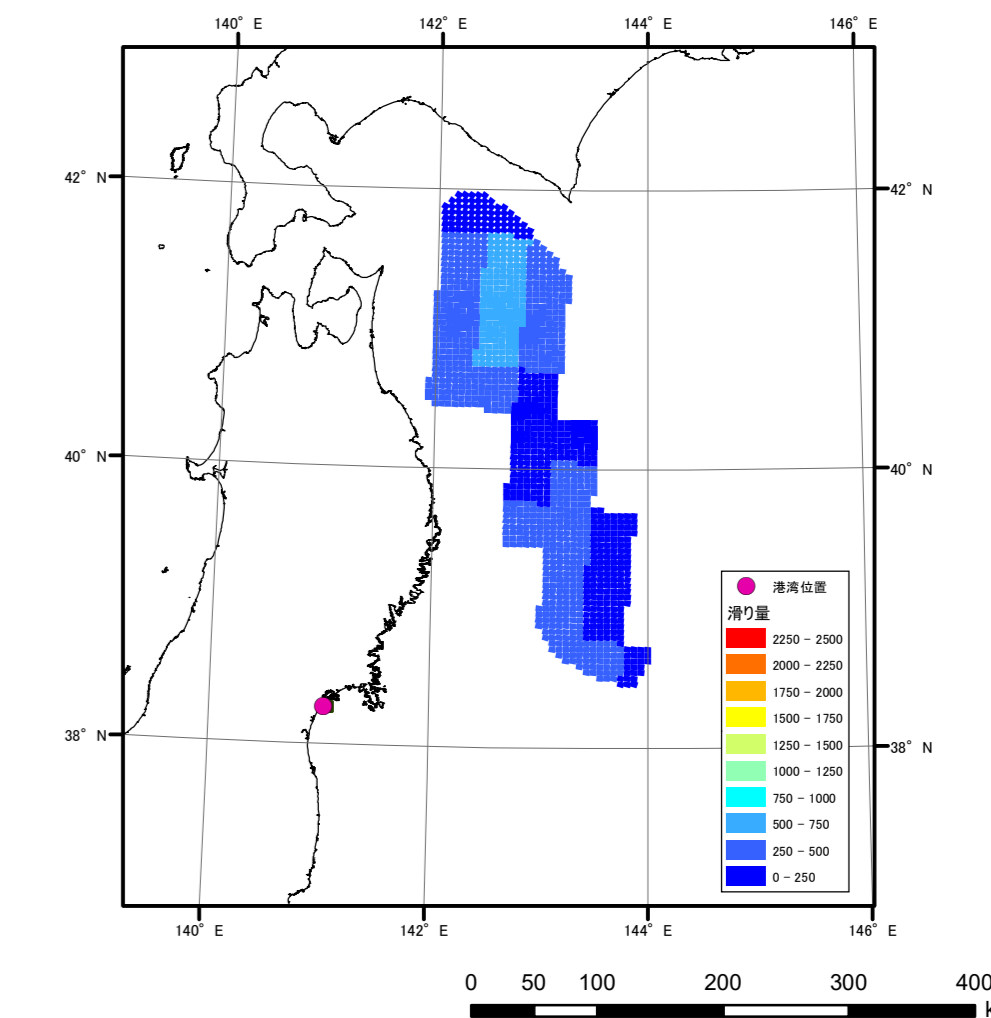
引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関：海上保安庁
防災情報図作成年月：平成29年7月(初版)
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基盤地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)